

各位

第7回研究助成報告交流会のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、当財団第7回研究助成報告交流会を開催することになりました。この報告会は当財団第25回加藤記念研究助成者の研究成果報告ならびに交流を目的としたものです。

参加ご希望の方は、下記の方法によりお申し込みください。

よろしく願い申し上げます。

敬具

記

- 1 会合名：第7回加藤記念研究助成報告交流会
- 2 日時：平成28年10月12日（水）
13:40～17:30
- 3 場所：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 2階 テラスルーム
（東京都千代田区神田駿河台4-6）
- 4 プログラム：別紙
- 5 参加費：無料
- 6 申込方法：別紙、参加登録票に必要事項をご記入の上、
メールもしくはFAXにてお申し込みください。
- 7 申し込み締切：9月23日（金）
希望者多数の場合は早めに締め切らせていただく事がございます
- 8 連絡先：(公財)加藤記念バイオサイエンス振興財団（江口、川上）
194-8533 東京都町田市旭町3-6-6
TEL 042-725-2576 FAX 042-729-4009
E-mail zaidan@katokinen.or.jp

以上

第7回 加藤記念研究助成報告交流会 プログラム案

日時 2016年10月12日(水) 13:40~17:30

場所 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 2階テラスルーム

[プログラムは仮案です。
詳細は当日ご確認ください。]

13:40 開会挨拶 秋永常務理事

13:45 講演開始 (発表6分、質疑応答3分)

稲森 啓一郎	東北医科薬科大学 分子生体膜研究所 機能病態分子学教室	准教授	視床下部での摂食・代謝制御におけるスフィンゴ糖脂質の病態生理的意義の解明
佐藤 政充	早稲田大学大学院先進理工学研究科 生命医科学専攻 細胞骨格研究部門	准教授	配偶子形成における染色体制御機構の解明
高村 史記	近畿大学 医学部 免疫学教室	医学部 講師	メモリーCD8T細胞維持におけるmTOR及びオートファジーの役割
中嶋 藍	東京大学大学院 薬学系研究科 薬品作用学教室	特任助教	嗅細胞の神経個性獲得を保証するシグナル機構の解明
坂内 博子	理化学研究所 脳科学総合研究センター	客員 研究員	グリア細胞の多機能性を司る分子基盤の解明
吉田 千春	大阪府立母子保健総合医療センター 研究所 病因病態部門	主任 研究員	神経管閉鎖時における表皮細胞の形成機序解明と力学的性質の意義
酒井 宏治	国立感染症研究所 ウイルス第三部	主任 研究官	インフルエンザ重症化肺炎発症における肺炎レンサ球菌、宿主プロテアーゼとの相互作用
篠崎 昇平	東京医科歯科大学大学院医歯学 総合研究科 基礎動脈硬化講座	准教授	S-ニトロソ化によるメタボリックシンドロームの発症メカニズムの解析

休憩 (14:55~15:05)

中司 敦子	岡山大学病院腎臓・糖尿病 ・内分泌内科	助教	メタボリックシンドロームにおける肝細胞表面GRP78とアンカー蛋白の機能解析
村上 智彦	大阪大学大学院歯学研究科 生化学教室	講師	カルシウムシグナルによるインフラマソーム活性化機構の解明
古澤 之裕	富山県立大学 工学部 教養教育 生物学教室	講師	Uhrf1によるDNAメチル化を介した腸管免疫調節機構の解明
安達 圭志	山口大学大学院医学系研究科 免疫学分野	助教	次世代型キメラ抗原受容体を発現した長期生存型T細胞による癌免疫療法の開発
狩野 光伸	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 医薬品臨床評価学教室	教授	悪性脳腫瘍の組織構築を再現する新規立体培養法による病因解析
昆 俊亮	北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子腫瘍分野	助教	多段階発がん過程における細胞競合能の検討
志馬 寛明	北海道大学大学院医学研究科 微生物学講座免疫学分野	助教	ミエロイド系免疫抑制細胞の機能制御による癌退縮メカニズムの解明
中山 恒	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 フロンティア研究室 低酸素生物学	准教授	慢性的な低酸素環境が誘発するがん悪性化の分子機構の解明

休憩 (16:15~16:25)

岩崎 崇	鳥取大学大学院農学研究科 生命資源 科学専攻 生体制御化学分野	助教	ポリヒスチジンを利用した分子輸送技術の開発基盤研究
田中 一生	京都大学大学院 工学研究科 高分子化学専攻 重合化学分	准教授	アップコンバージョンを利用した低侵襲光駆動型薬剤放出システムの開発
井田 隆徳	宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター	准教授	新規生理活性ペプチドの発見と応用
鈴木 道生	東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 生物有機化学研究室	講師	軟体動物貝殻内の有機基質の改変による石灰化の機構解明と高機能材料の創出
築地 真也	名古屋工業大学 材料科学フロンティア研究院	教授	蛋白質局在制御化合物による細胞操作技術の創出
平 大輔	崇城大学生物生命学部 応用生命学科 生命環境科学講座	准教授	anamnox菌特有ヒドラジン合成酵素系の反応機構解明
松尾 拓哉	名古屋大学 遺伝子実験施設 植物ゲノム解析分野	講師	微細藻類バイオ燃料の生産性向上に向けた体内時計の研究

17:28 閉会挨拶 松田理事長

17:30 閉会

メール又はFAXにて、9月23日(金)までにお申し込みください。

FAX 042-729-4009 E-mail zaidan@katokinen.or.jp

第7回加藤記念研究助成 報告交流会(10月12日)

参加登録票

氏名	
所属	
役職	
連絡先 (勤務先/住所)	
電話番号	
FAX 番号	
E-mail	

お一人1枚ご提出下さい。なお参加者は大学・公的研究機関の研究者に限らせていただきます。大学院生の参加可。

登録受付け後、確認メールをお送りします。なお定員に達し次第、締め切ります。

個人情報につきましては、本報告会・交流会に限定して使用させていただきます。

連絡先： (公財) 加藤記念バイオサイエンス振興財団
〒194-8533 東京都町田市旭町 3-6-6
TEL 042-725-2576
FAX 042-729-4009